

一農業経営の形態や雇用状況は。

畑作の悩みは「冬季」 西原氏

西原 上土幌で約60ヘクタール規模の畑作をやっている。約30年前に父の代から31ヘクタールで継いだ。当時ビートや小麦の価格が下がり始め、農協を中心に野菜を作る流れになった。ナガイモ、ニンジン、ゴボウ、ダイコン、ソバ、スイートコーンなど10品目の栽培に取り組んでいる。ほぼ家族経営で通年雇用の従業員は1人。パートは2人で、昨年からまた1人増えた。畑作で人を雇う上での悩みは冬の仕事がないこと。春から秋までの雇用では駄目と思いい、5年前から通年雇用をしている。

野菜を中心に考え、大規模多品目の収穫には家族だけでは足りないので人を雇った。働く人にとって冬の間に切られるのはきつい。夏の間も長時間労働するくらいなら1人増やすことにした。彼（従業員）がいなかったら私の家は回っていない。

井下 2005年に4戸の酪農家でJリードを設立した。当時は約250ヘクタールで経産牛は200頭ちょっと。現在は成牛750頭、育成牛500頭を飼養している。リーストールロータリーパーラーを採用している。牧草とデントコーンを400ヘクタールほど作付けし、飼料も自給している。

規模拡大の中、家族だけではできないので、現在は役員4人の他に日本人の雇用が道内外出身の10人、ベトナムからの外国人技能実習生9人、パート5人の計28人で運営している。

外国人技能実習生は10年前から。酪農は拘束時間が長く日本人の雇用が困難になったのと、3回搾乳で生産量を上げたかったのが理由。やってくれるのがたまたま外国人だった。搾乳作業をお願いしているが、確実に仕事をしてくれるので非常にローテーションが組みやすくなった。

一十勝ではどんな雇用問題があるのか。



若手が入ってこない 徳江氏

徳江 社会保険労務士、行政書士として20年間農業と建設業に関わってきたが、若手が入ってこない。人がいないので事業を大きくもできない状況だ。帯広、芽室、幕別、音更はなんとなくかなっているが、町村部は困っている。労働保険、社会保険、労災などの相談は増えてきている。意外と労災に入っていない会社もあった。牛に突かれて労災の対象になったケースも。昔は社会保険などに「入れてやるぞ」と言って入れてくれない時代もあったが。

一外国人技能実習生の確保はできるのか。

徳江 外国人技能実習制度は安く雇っていると思われがちだが、最低賃金以上に賃金は払うし、人件費

と住居費を出さなければ定着しない。日本人を雇った方が安い場合もある。いろんなルートはあるが、これ以上増やすのは難しいかもしれない。ただ5～10年先を考えると日本人で65歳以上がもっと増えていく。農業は肉体労働だから、若い人を確保する点で外国人に頼らざるを得ない。中国人が多かったが、最近ではベトナム人が増えている。

一外国人技能実習生の受け入れで苦勞する点は。



外国人への理解必要 井下氏

井下 外国人技能実習生を受け入れる農家や企業が、ブラック企業呼ばわりされ世の中の目が厳しい。心外な部分はある。決して安い労働力を確保しているわけではない。外国人技能実習生には労働法が適用されるので法律の範囲内の労働時間でしか働かせられない。移民受け入れとまでは言わないが、外国人労働者の規制緩和、外国人労働者に対する地域の理解が必要だ。

一畑作では冬の仕事の確保が難しいが工夫は。

西原 通年雇用が狙いではなかったが、100坪の冷蔵施設を5、6年前に建てた。冬の出荷が可能になり、ダイコン、ゴボウ、ジャガイモの出荷作業で冬に仕事をやめなくても済む。長めに休むのは正月くらいだ。

一酪農は分業も進んでいる他、酪農ヘルパーもあり、役立っているのでは。

井下 牧場の労働力軽減のため酪農ヘルパー、TMR（総合混合飼料）センター、コントラクター（農作業受託事業）があるが、そこが人手不足だ。結局酪農家はその仕事もしなければいけない。今でも問題だが、これからもっと大きな問題になる。トラクターが壊れてもなかなか直しに来てくれないこともある。

一社労士から見る農業現場の労働環境は。

徳江 TMRセンターもコントラクターも技能を持っているオペレーターが減っている。年を取って引退して、若い人が農業に参入してこないこともある。65歳までの生産年齢人口が減って、戦力になる人が減っていることがある。農業で働いてもらうためには、職場の環境として労働保険、社会保険に入っていることだ。

経営者としては労働法を勉強する。人も個性が違うのでどうやったらうまくやっていけるのか、勉強することは多々ある。法律に沿ってやらざるを得ない。労災の心配もあるので安全教育もしなければいけない。

うちの会社の存在価値はこうだとか、食の安全・安心とか十勝の農業のためにという経営理念をしっかり持って、経営計画を立てていくことが必要。農業は長期で見る業種で10、20年先を見て考えないといけない。法人化することは良い。家計と一緒にす